

学校名	坂戸市立勝呂小学校
実施日	H30.2.27

**坂戸市立 勝呂小学校 平成29年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価委員評価**

・「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄にはA～Dを記入してください。
 ・「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄にはその評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めているかを明確にしてください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価委員評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組む体制を作っている。	B	○ 保健室を利用しなければならない児童がいても、養護教諭不在が多。そのため、担任が対処せざるを得ない時が多々あり、授業に支障があった。4	A	○ 校内やHPIにも学校が目指す方針が示されている。
	2	学校は、計画・実行・評価・改善のサイクルのもと、分掌経営を進めている。	B	○ 学級経営案が作成されていない。1	A	
	3	学校は、自己指導力の育成を目指して組織的に生徒指導に取り組んでいる。	B	○ 清掃中のルール、移動教室の時のルールが徹底できないと感じる。自分の学年だけでなく他学年のことも互いに見て指導していかなければならないと思う。 ○ 横の関係は勿論のこと、縦の関係も充実させ、組織をさらに強化させていきたい。(情報共有など) ○ 決まりの共通理解が出来ていない。 ○ 定期的に生徒指導部会は行われているが、色々な問題のある児童に対して、組織的な対応を行えると良い。	B	
	4	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	B		A	○ 引き渡し訓練の定期実施やスマホ使用方法を児童に指導している。 ○ 個人情報の保護にて連絡網は無いので・メール基準にしては。

教育課程・学習	5	学校は学校教育目標の具体化を目指し、教育課程を編成・実施・評価し、教育活動の充実改善を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年同じ流れで、前年度の反省点が引き続き出ていないと感じる。引き継ぎを密に行い、改善していく必要がある。 	A	○ 学校・学年便りには、学校の様子や状況は良く把握できる。
	6	学校はそれぞれ各学年で基礎学力の定着を目指し、指導や取り組みを工夫している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後残すことが出来ない為、休み時間等で実践するほか無かった。 ○ 個に応じた指導をしたくても時間がとれない。放課後の放課後の有効利用が出来ないものか。 ○ 水曜日の昼休みブロック毎に〇〇教室という形で補修など出来ないか。 ○ 本校の課題として、手立てを共通理解しているか。 ○ スキルアップなど、今年度は増やしたが、その結果や見直しが出来ると良い。 	B	○ 個に対する指導が難しいと話していたので。
	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて指導体制や授業改善に努めている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室内にテレビがないことが異常である。気軽に利用できる視聴覚教材としてのテレビの役割を改めて認識すべきである。 ○ 十分な教育機器、設備がない。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども同士で議論したりレポート作成したりなどを我が子が行っているのを知り、充実を図っているのが理解できる。 ○ 今後はもっとモバイル化が必要となるのでしょ。
	8	学校は豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	○ 本校の少人数指導の形態を確立すべきである。学年毎に任せるのでは系統的に継続的に指導できない。	A	○ 読書タイムやそれ以外での本を借りる等が出来ない体制がある。また、道徳についてもいじめ根絶の実現を目指すことが中に明記さ
	9	学校は、基本的な学習、生活習慣の定着のための指導を工夫している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶が出来る児童が多いので、委員会の挨拶運動など教員全員での呼びかけなど工夫が必要。 ○ 挨拶に対する教師、子ども、地域、父母の意識が低すぎる。具体的な方策をじっくりと話し合う必要がある。 ○ 指導しているが不十分。 	A	○ 進んで挨拶については、重々指導しているのは理解できるが、もっと子ども達が行えるといい。
	10	学校は、児童生徒一人一人を大切にしたい学校経営を行っている。	B		B	
	11	学校は、健康や体力の向上のため、指導や取組を工夫している。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ フレンドタイムの持久走練習は全員で準備体操をしたり、集団走を取り入れた方がしっかり練習できる。 ○ 行事の為の授業ではなく、生涯にわたって豊かに生活できる体力をつけていきたい。 	B	
12	学校は、特別支援教育の充実を図っている。	B	○ 様々な行事や学習について、連絡を密にすることが出来なかった。	A	○ 評価にあたり、一部実態が見えない部分があるが、教室を分けたり、職員を配置したり出来ている。	

資質の向上	13	学校は教職員の服務規律の確保に努めている。	B		A	
	14	学校は教職員の指導力向上に計画的・組織的に取り組んでいる。	B	○ 他校の取り組みで良かった点等、次項の取り組みに生かせるよう、短時間で報告した方がいいと思う。	A	○ 学校研究に関するHP記載がH27マデとなっているので更新してあると良い。
学習環境	15	学校は、環境美化に努め、温かさと潤いのある学ぶ環境づくりを組織的に進めている。	B	○ 古くなった掲示物ははがしていきたい。	B	○ 各教室に子ども達が分かるように掲示してあるのはよい。
	16	学校は安全で機能的な教育環境づくりを進めている。	B	○ 花壇、畑は児童の教育活動が主であるべき、学年に割り振るべき。	B	
	17	学校は、教材・備品を充実・整備し、学習環境の充実を図っている。	B		A	○ 図書室はわかりやすく整理されている。
家庭・地域との連携	18	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	B	○ 2学期に懇談会や保護者面談などがあった方がよい。	A	○ 勝呂メールによって防犯に関する情報は把握しやすくなっている。HPもわかりやすいがもっと、子ども達の様子が分かる写真があると良い。(顔を写さずに)
	19	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。	B		A	○ 米作りなど地域とのつながりは非常に良くできている。
	20	学校は、家庭・地域社会と連携協力し、子どもの問題解決を図っている。(市共通項目)	B	○ 2学期に懇談会や保護者面談などがあった方がよい。	A	